

インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) メジロダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) コシカワゼミ
目白大学	経営学部	越川ゼミ

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) コシビー	フリガナ) イシツカ ヨシミ	4	無	
越 B	石塚 美海			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

研究テーマ (発表タイトル)

科学の力で痴漢を撲滅!

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

満員電車が社会問題の一つとなっている日本では電車内で起きる犯罪行為の「痴漢」が大きな問題となっている。海外でも“CHIKAN”という単語で広まっているほど日本は痴漢大国である。そんな状況を打開するためにどうしたら痴漢を無くすることができるのかを人々にどのようにプロモーションするかが今回の目的である。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

平成 27 年度版犯罪白書によると、2014 年の電車内での強制わいせつの認知件数は 283 件である。しかし、ニュースで痴漢の犯人が逮捕されたなどの話題が定期的に報道されていることを考えるとこの数字は少ないように思われる。私たちが独自に行ったアンケートでも実際に痴漢をされたことがあると回答した人は 70%近く¹存在していることが分かった。痴漢が検挙される場合、強制わいせつ罪と迷惑防止条例違反の 2 パターンがあるが多くの場合は迷惑防止条例違反である。実際に警視庁が公開している平成 29 年のデータを見てみると、都内の電車内で発生した痴漢だけで迷惑防止条例違反が約 898 件認知されている。

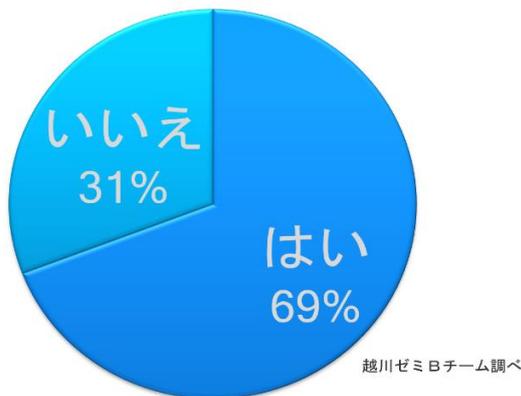
私たちが体感として感じているよりも認知・検挙件数が少ない背景として考えられるのは、被害を受けた女性が声を上げないと

ということが一番であると考え。私たちのアンケートの結果でも被害を訴えなかったという回答が 60%近く²出ている。このように被害者が被害を訴えることができない現状も痴漢が減らない一つの要因として考えられるだろう。

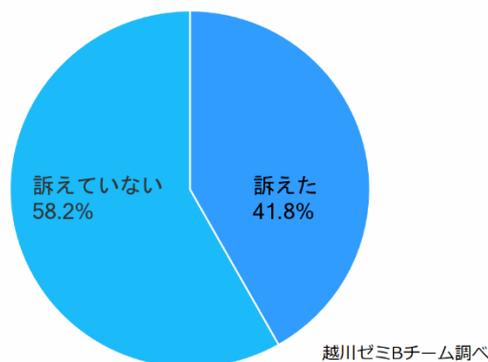
また、痴漢行為をしてしまう加害者もその行為に依存している可能性がある。しかし、この事実には本人はなかなか気が付くことができないのだ。行為を始めたきっかけは「偶然」など些細なことが多く、通勤・通学などの日常生活の一部として習慣になってしまうと本人だけではやめることができないのである。

駅のホームなどには痴漢への注意喚起ポスターなどが張られているが、そのポスターが痴漢をする人に影響を及ぼしているかというそうではない気がする。そのような環境をいち早く変えなければいけないという事実がある。

1. あなたは痴漢をされたことがありますか？



2. 被害を訴えたか



3. 研究テーマの課題

鉄道各社や警察で注意喚起のポスター、監視カメラの導入などで対策を試みてはいるものの痴漢は減っていないのが現状である。ではどういった工夫が痴漢を減らすことに繋がるのか考えることを今回の研究テーマの課題とする。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

電車内や駅ホームのポスターでの注意喚起だけでは痴漢は減らなかったため、現代の技術を使い男女それぞれにアプローチして痴漢を減らすことが重要であると考えた。

女性には痴漢撃退アプリを積極的に利用してもらうようプロモーションを行う。民間の会社が開発した痴漢撃退アプリはもちろん、警視庁が開発している痴漢撃退アプリがある。痴漢を無くしていくうえで被害者が声を上げていくことが痴漢を減らしていく上で必要不可欠である。

また男性には痴漢をしないために、「痴漢外来」の紹介を行う。痴漢をしている人は性的欲求ではなく、ストレスなどのマイナスの感情が引き金となっている場合が多いため、それらの感情を上手く吐き出す方法も併せて紹介する。

男女それぞれに対するプロモーションの方法として従来通り電車内や駅構内のポスターの設置やつり革広告の活用をする。それらにはすべて QR コードを付けることでアクセスを簡単にすることで手間を少なくする。つり革広告を利用することで期待できるのかとして単純接触効果が挙げられるだろう。

たくさんの人にアプリがある、痴漢は心の病からの可能性もあり、専門機関で治療をすることが可能であるということを知ってもらうことが必要なのではないか。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

警視庁などが公開しているデータの数字では自分たちが持っていた痴漢に対するイメージとは異なったため、Google フォームを使い自分たちの友人などを対象にアンケートを実施した。捉え方によってはデリケートな質問であるため、回答者数 50 人という、当初予定していた回答数には届かなかったものの、実際に痴漢被害に遭ったことがある人の割合の多さに驚いた。

シャチハタが限定販売した「迷惑行為防止スタンプ」などニュースに痴漢対策方法などが取り上げられる機会はあるものの、痴漢撲滅アプリなど既にある痴漢対策方法についての認知度の低さが問題であると考え、新たな商品を考えるのではなく、今あるものをどのようにして認知度・利用数を上げていくのかに焦点を置いた。

6. 結果や今後の取り組み

実際に考えたポスターなどを掲示してもらい、今までの痴漢件数と比較する。首都圏の路線でつり革広告を行うことが可能な路線は何路線あり、どれくらいの効果が期待できるのかについて今後調査し、取り組んでいきたい。

7. 参考文献

【Web】

平成 27 年版犯罪白書～性犯罪者の実態と再犯防止～（2019/9/24 参照）

[<http://hakusyo1.moj.go.jp/jp/62/nfm/mokuji.html>]

こんな時間、こんな場所がねられる（2019/9/24 参照）

[<https://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kurashi/higai/koramu2/koramu8.html>]

JR 東日本公式サイト（2019/9/21 参照）

[<https://www.jreast.co.jp/>]

「科学の力」で痴漢をなくす、驚きの方法（2019/9/24 参照）

[<https://gendai.ismedia.jp/articles/-/51903>]

つり革広告 株式会社オリコム（2019/9/22 参照）

[<https://www.oricom.co.jp/special/transit/turi.html>]

「痴漢防止ハンコ」販売 抑止狙い、シヤチハタ開発 日本経済新聞電子版（2019/8/26 参照）

[<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO48999770W9A820C1000000/>]

【文献】

斉藤章佳（2017）『男が痴漢になる理由』 イースト・プレス

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経 BP マーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・株式会社日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ **ここまでの 4 ページ以内におさめて、ご提出ください**